平和学習で学ぶ

命の尊さ 劇で表現

与勝高 戦跡巡り脚本制作

【うるま】県立与勝高校（宮城勉校長）は22日、うるま市勝連きむたかホールで平和学習会を開いた。フィールドワークで学んだことをパワーポイントで発表したほか、表現部がオリジナル脚本の劇を披露し、平和への考えを深めた。

フィールドワークは、各学級の代表ら約40人の生徒が市内のガマや米軍基地、戦跡などを巡った。平和ガイドの森根昇さんがガイドを務めた。

表現部の生徒は、フィールドワークで感じたことを基に脚本を制作。現代の高校生が戦中の沖縄にタイムスリップし、命の大切さに気付くという内容だ。劇中で生徒らが作詞作曲した「キミ」という楽曲も披露された。

中心となった玉那覇まいさん（3年）、赤嶺かなえさん（2年）、平良ちひろさん（同）は「自分の生まれた土地で起こった悲劇を知り、未来へ語り継がないといけない」と劇に込めた思いを語った。

発表では、当時の皇民化教育に触れ、「教育の恐ろしさを知った。命の大切さを伝える教育がなされていれば戦争は起きなかった」という意見が出た。また貯油タンク４基を備えるキャンプ・コートニーの存在から「基地問題が解決しておらず、まだ戦争は終わっていない」という意見もあった。

フィールドワークで感じたことを歌やせりふに込め発表する与勝高校の生徒＝22日、うるま市勝連きむたかホール

（２０１２年６月２７日　３０面）

☆与勝高校の生徒は、フィールドワークで学んだ事をどのような方法で表現したでしょうか？　すべて挙げてみよう。

☆皇民化教育とはなんだろうか？　調べてみよう。

年　　組　名前